



修学旅行

～ 広島・京都・大阪 ～

自主性を育む5日間の旅

2年生は、5日間にわたる修学旅行を満喫し、10月29日(火)にA班(工業科・商業科)が、11月1日(金)にB班(普通科)が旭川へ戻りました。今年の修学旅行も韓国または国内の2コースから選択できる形式でしたが、韓国を希望する生徒が少数だったため、全員が国内旅行に参加しました。旅行初日、生徒たちは広島へ移動し、2日目には厳島神社や広島平和記念公園を訪れるなど、歴史に触れる貴重な体験をしました。3日目と4日目は京都と大阪で自主研修を行い、それぞれの地域で新たな発見と学びを深める機会を楽しみました。今回の修学旅行も、歴史や文化に触れながら、自主性を育む充実した5日間となりました。

日光くるみさん(商2・六合中)「2日目に訪れた広島平和記念資料館では、原爆の恐ろしさや悲惨さを深く感じ、胸が痛む思いでした。3日目の自主研修では、まず京都の清水寺と高台寺を訪れました。清水寺から眺める景色はとても素



北海道立正学園校
旭川実業高等学校
広報部
TEL(0166)51-1246
旭川実業高校HP



晴らしく、心が洗われるようでした。その後、大阪に移動して道頓堀でグルメ散策や買い物を楽しみました。4日目にはUSJを訪れ、フライングダイナソーやバックドロップなど、さまざまなアトラクションを満喫しました。長時間の待ち時間も、友達と一緒にたまためあつという間に感じられました。ホラーナイトではゾンビが非常にリアルで、とても怖い体験でした。この修学旅行では実際に訪れるこ

新生徒会長

谷口 遼明さん
(普2・中央中)



「このたびは、信任投票により、生徒会長に選んでいただきありがとうございます。

就任のあいさつ

このような重要な役割を任せていただいたことに心から感謝申し上げます。また、これまでの生徒活動を支えてくださった先輩方、先生方、そして生徒の皆さんに心からお礼申し上げます。今回、私が掲げるテーマは「新しい風が吹く学校」を作り上げたいと

とで、その地域の文化や歴史、身近に感じることができました。また、友達との絆を一層深めることができ、とても充実した修学旅行となりました。」

機械システム科 防災出前講座

10月23日(水)、機械システム科1年生を対象に、旭川建設業協会二世会様の主催による「防災出前講座」が実施されました。この講座は、防災意識の向上や災害時の対応



この講座は、防災意識の向上や災害時の対応

力を養うことを目的とし、実践的な学びを提供する内容となりました。講座では、避難所運営ゲームを通じて、災害発生時のインフラの状況(停電や断水など)を想定した避難所運営の模擬体験が行われました。参加した生徒たちは、施設内の適切な配置を考えつつ、受け入れ可能な人数を計算し、最終的に避難所に収容した人数を確認するプロセスに取り組みました。ゲーム中、生徒たちは限られた条件の中で被災者が過ごしやすい環境を作るために、知恵を絞りながら仲間と協力して課題を解決していまし



条件の中で被災者が過ごしやすい環境を作るために、知恵を絞りながら仲間と協力して課題を解決していまし

た。苦戦しながらも、グループごとに創意工夫を凝らし、災害時の困難を乗り越えるための実践的なスキルを身に付けていく様子が印象的でした。

商業科 シュガーセミナー

11月15日(金)、三笠市地域おこし協力隊の田中颯太様と市川竜之助様の2名を講師にお迎えし、商業科2年生を対象とした「シュガーセミナー」を実施しました。本セミナーは、年々消費量が減少している砂糖について、正しい知識や機能性を学ぶ機会として開催されました。講義では、砂糖の製造工程や種類、食生活における利点・注意点など、普段あまり意識することのない砂糖の奥深さについて詳しく教えていただきました。また、実習では、実際にパウンドケーキを作りながら、砂糖と人工甘味料の違いを味や仕上がりの面から体験的に学びました。生徒たちは「普段何気なく使っている砂糖の役割について新しい発見があった」「実際に作って違いを感じることで、より理解が深まった」といった感想を口にしながら、大変有意義な時間を過ごしました。



砂糖の製造工程や種類、食生活における利点・注意点など、普段あまり意識することのない砂糖の奥深さについて詳しく教えていただきました。また、実習では、実際にパウンドケーキを作りながら、砂糖と人工甘味料の違いを味や仕上がりの面から体験的に学びました。

「新しい風」を吹かせるには、一人の力では限界があります。生徒一人ひとりの力が集まることで、私たちの学校は大きく変わっていくはずですよ。そのためにも、どうか皆さんの協力をお願いいたします。小さな提案や意見でも、大きな一歩を生む原動力になります。これからの一年間、私たちとともに、笑顔であふれる、そして常に前向きな学校を作り上げていきましょう。」

